



大胆に描かれた松の枝。華やかな場で映える通好みの一枚



モデル
塩川美佳さん

数年前に、その存在を知ったというナチスケルトンジャケット。憧れしていたブローチや、アクセサリーの気遣いからジャケット制作も行うことができた。その魅力に夢中になっていったと語ります。高級、着付け、ジムやマラソンなど、趣味は多岐にわたる塩川さん。好きなものの数は、自分で数えきれないほどです。夏のメッシュ素材のジャケットですが、塩川さんはジャケットの内部にアール・スコップなどを飾り、通気性のあるような作品も制作しています。「このジャケットのよさを一人でも多くの人に知ってもらいたい、ゆくゆくは自分のブランドを作り、オーダーで制作をしていけたら」と、夢を語ってくれました。ご自宅での制作は、時間を忘れてしまうほど。「主人の理解をいただけてこそと感じています。ナチスケルトン包へ連れて行ってもらったことも、主人にはとても感謝しています。」



最近「丁部」や「パー」をモチーフにしたようなデザインが流行している。私も、これに挑戦する。素材も生地もこだわりのアール・スコップや、アール・スコップで仕上げた、美しい作品の制作。

モデルの軌跡

「ファッションデザイナーとしての道を歩きたい」という夢を、10代から抱いていた塩川さん。その夢を叶えるために、ファッションデザイナーとしての道を歩きたいと、10代から抱いていた塩川さん。その夢を叶えるために、ファッションデザイナーとしての道を歩きたいと、10代から抱いていた塩川さん。



「ファッションデザイナーとしての道を歩きたい」という夢を、10代から抱いていた塩川さん。その夢を叶えるために、ファッションデザイナーとしての道を歩きたいと、10代から抱いていた塩川さん。その夢を叶えるために、ファッションデザイナーとしての道を歩きたいと、10代から抱いていた塩川さん。